

リスクモンスター株式会社

(東証JASDAQ上場 : 3768)

2014年3月期 第2四半期 決算補足資料



2013年11月13日

1. 2014年3月期第2四半期 重点施策・取り組み (P.2)
 2. 決算サマリー (P.3)
 3. 業績推移(四半期) (P.4)
 4. 連結セグメント別業績 (売上高) (P.5)
 5. 連結セグメント別業績 (利益) (P.6)
 6. 与信管理サービス等 業績 (P.7)
 7. ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)
 8. BPOサービス 業績 (P.9)
 9. その他サービス 業績 (P.10)
 10. 会員数推移(四半期) (P.11)
 11. 連結貸借対照表 (P.12)
 12. RM財務格付による財務分析 ① (P.13)
 13. RM財務格付による財務分析 ② (P.14)
 14. 連結キャッシュ・フロー (P.15)
 15. 『第3次中期経営計画(2011～2013年度)』全体的な基本方針 (P.16)
 16. 『第3次中期経営計画(2011～2013年度)』事業別の基本方針 (P.17)
 17. 2014年3月期 業績予想 (P.18)
 18. 2014年3月期 配当金予想 (P.19)
 19. 株主優待のご案内 (P.20)
 20. 企業概要 (P.21)
- IRに関するお問合せ (P.22)

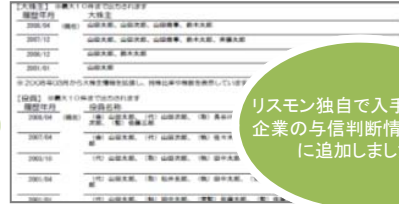
1Q

2Q



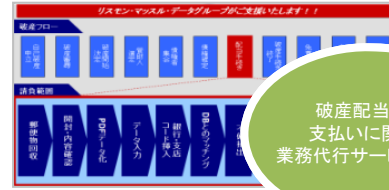
債権管理機能、ワークフロー、社内格付システムがセットでお得に使える新パッケージです。

新パッケージサービス『プレミアムパック』提供開始



リスモン独自で入手している企業の与信判断情報を新たに追加しました。

企業情報簡易レポートサービス『よくばりPDF』改訂版リリース



破産配当金の支払いに関する業務代行サービスです。

新サービス『破産配当金データ作成アウトソーシング』提供開始



企業の倒産度を計ることができる無料アプリです。

スマートフォンアプリ『倒産度チェック』リリース



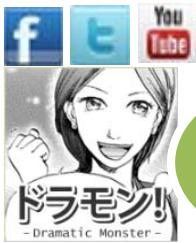
RM格付とお客様自身で入手した情報を組み合わせて独自の評価を算出できるサービスです。

新サービス『社内格付システム』提供開始



10月11日オープン記念イベントを行いました。

リスクモンスター九州営業所開設 決定



リスモンオリジナルの与信管理マンガです。

SNS (Facebook・twitter・YouTube) 配信スタート
リスモンオリジナルマンガ『ドラモン!』掲載開始



展示会などで大活躍しています。

リスモンオリジナルグッズ 作成



与信管理業務を小説として仕上げました。

新刊『与信管理奮闘日記』出版



日系企業が約 600 社出展し、10,000 人以上の来場者がありました。

日中ものづくり商談会@上海2013 出展

リスモン調べ 第1回 『世界に誇れる日本企業』 調査結果発表

リスモン調べ 第1回 『独創性を感じる日本企業』 調査結果発表

リスモン調べ 第1回 『金持ち企業ランキング』 調査結果発表

リスモン調べ 第6回 『サービス満足度および与信管理に関する調査』 調査結果発表

リスモン調べ 第1回 『長生き企業ランキング』 調査結果発表

リスモン調べ 第2回 『環境への配慮が感じられる企業ランキング』 調査結果発表

リスモン調べ 第1回 『九州・沖縄長生き企業ランキング』 調査結果発表

リスモン調べとはリスモンが独自に調査するレポートのことです。

リスモン調べ 随時 調査結果発表

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	前期比
売上高	1,235,695 千円	1,236,886 千円	1,191 千円	100.1 %
営業利益	116,337 千円	130,126 千円	13,788 千円	111.9 %
経常利益	120,132 千円	137,258 千円	17,125 千円	114.3 %
四半期純利益	56,248 千円	76,530 千円	20,282 千円	136.1 %
1株当たり四半期純利益	14.43 円	19.44 円	5.01 円	134.7 %
会員数	8,218 ID	9,608 ID	1,390 ID	116.9 %

◆売上高

BPOサービス等の売上高が落ち込んだものの、主力である与信管理サービス等とビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)が堅調に推移しほぼ前年並み。

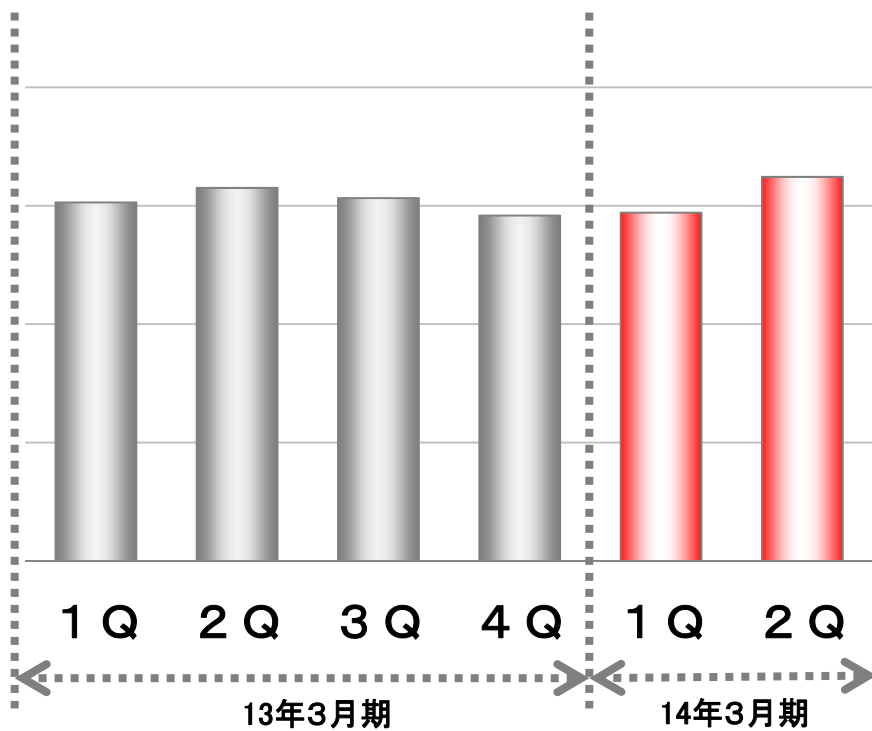
◆利益

各セグメントの中で利益率が高いASP・クラウドサービスが堅調に推移し、前年同期を上回る。

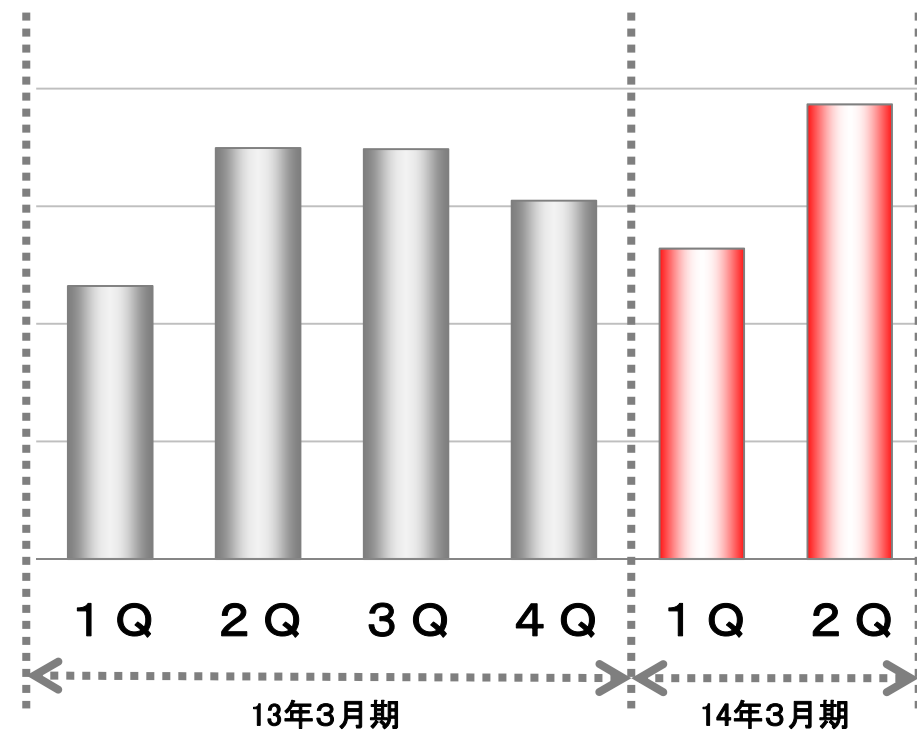
(単位 : 千円)

	2013年3月期				2014年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	605,616	630,078	612,929	583,385	588,235	648,650
営業利益	46,432	69,905	69,709	60,942	52,797	77,328

売上高



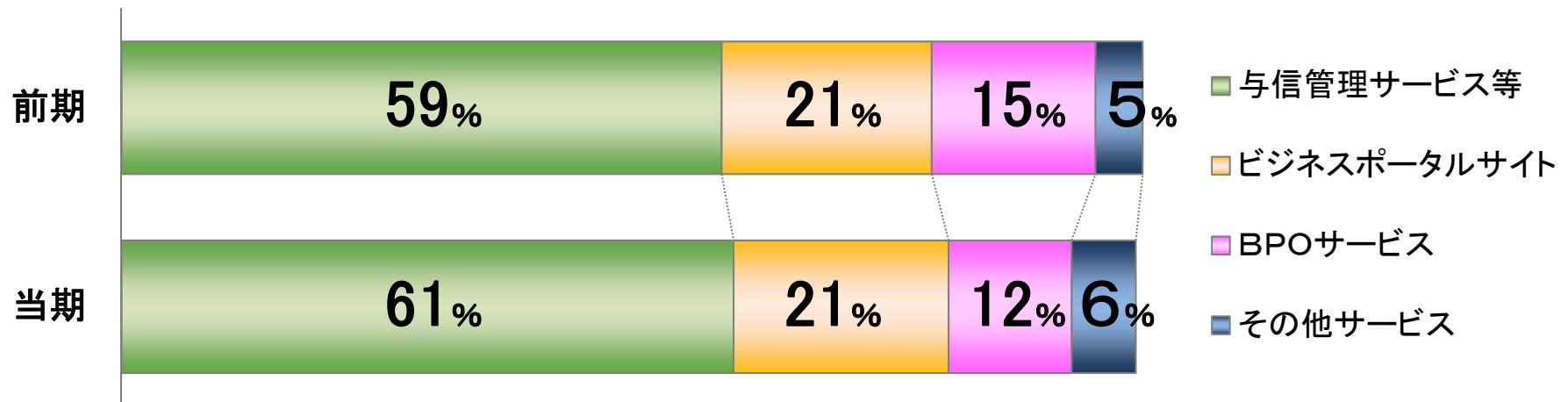
営業利益



（単位：千円）

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	753,261	768,319	15,057	102.0%
ビジネスポータルサイト	263,764	269,796	6,031	102.3%
BPOサービス	205,642	154,527	△51,115	75.1%
その他サービス	59,159	80,590	21,430	136.2%
調整額（注）	△46,132	△36,346	9,786	—
売上高 計	1,235,695	1,236,886	1,191	100.1%

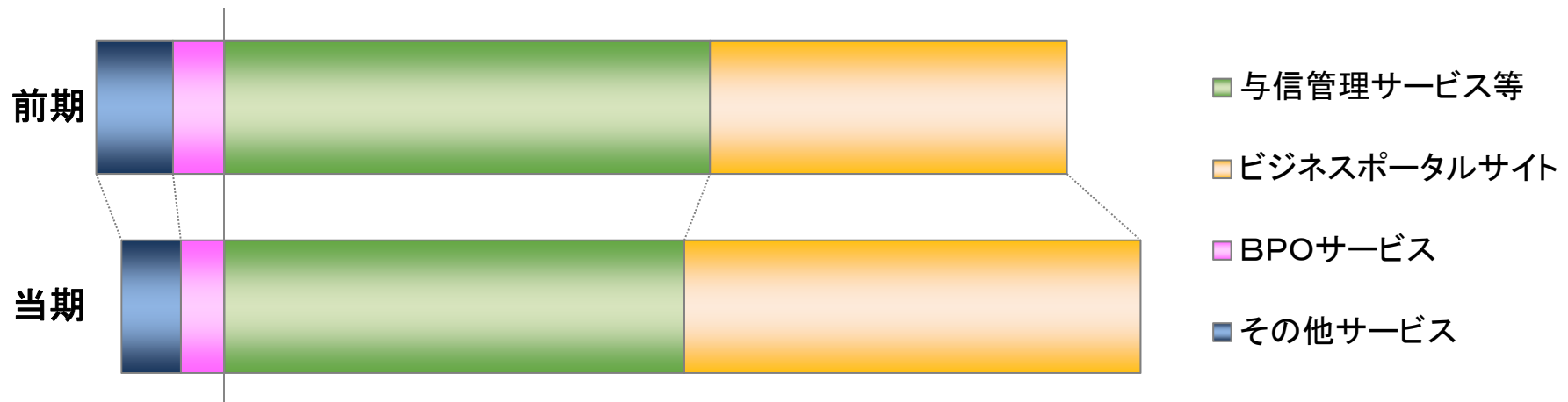
（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



（単位：千円）

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	79,739	75,508	△4,230	94.7%
ビジネスポータルサイト	58,577	74,908	16,331	127.9%
BPOサービス	△8,422	△7,133	1,288	—
その他サービス	△12,589	△9,735	2,854	—
調整額（注）	△966	△3,421	△2,455	—
セグメント利益 計	116,337	130,126	13,788	111.9%

（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



(単位 : 千円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス(注1)	640,011	644,610	4,599	100.7%
コンサルティングサービス(注2)	113,249	123,708	10,458	109.2%
売上高 計	753,261	768,319	15,057	102.0%
セグメント利益	79,739	75,508	△4,230	94.7%
会員数 (ID) (注3) (内、提携会員数)	4,571 (1,564)	4,770 (1,708)	199 (144)	104.4% (109.2%)

(注1) 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約260万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス

(注2) 「金融サービス」等を含むその他サービス

(注3) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互連携を行う提携会員の合計

ASP・クラウドサービスはほぼ前年同期並みだったものの、
コンサルティングサービスが好調で、売上全体では前年同期を上回る。
一方、目標を達成するための施策実行や九州営業所の立ち上げなど先行投資により
セグメント利益は前年同期を下回る。

(単位 : 千円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	233,838	241,434	7,596	103.2%
その他 (注2)	29,925	28,361	△1,564	94.8%
売上高 計	263,764	269,796	6,031	102.3%
セグメント利益	58,577	74,908	16,331	127.9%
会員数 (ID) (注3)	3,647	3,471	△176	95.2%
ユーザー数	130,617	128,175	△2,442	98.1%

(注1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス

(注2) ホスティングサービス等を含むその他サービス

(注3) 「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

会員数は減少しているもののディスク容量の利用が堅調に推移し、ASP・クラウドサービスの売上高の増加とセグメント利益に寄与。

(単位 : 千円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	前期比
デジタルデータ化等BPO サービス	184,555	154,527	△30,028	83.7%
派遣事業サービス	21,086	—	△21,086	—
売上高 計	205,642	154,527	△51,115	75.1%
セグメント利益	△8,422	△7,133	1,288	—

主力のデジタルデータ化等BPOサービスが低調だったことや、前期に一部の売上高をその他のセグメントに移管したこと、労働者派遣法の改正に対応したこと等に伴い売上高が前年同期に比べ減少。また、グループの事務処理集中センターとしてコストセンター部門の費用を負担しているものの、国内処理センターの集約等の効果でセグメント損失が減少。

(単位 : 千円)

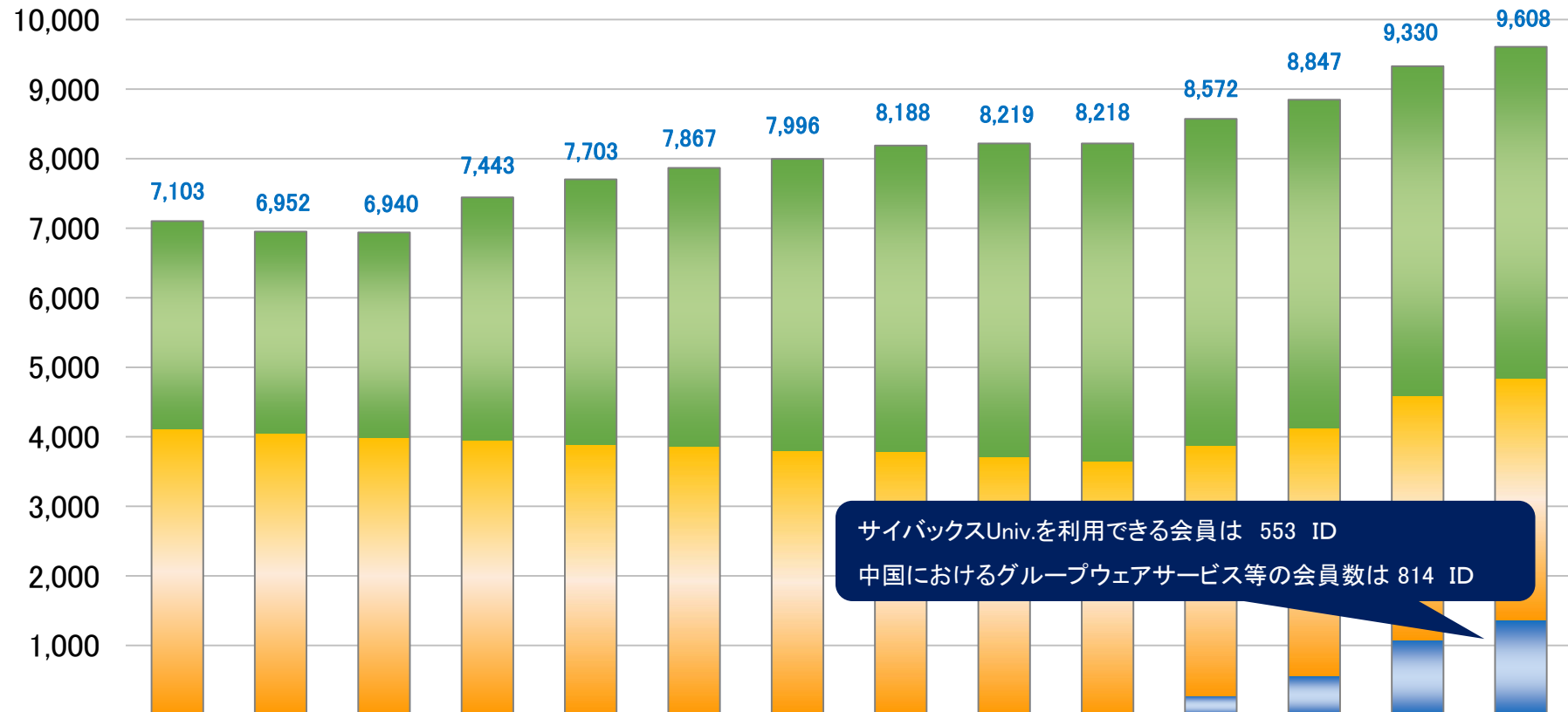
	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額	前期比
売上高	59,159	80,590	21,430	136.2%
セグメント利益	△12,589	△9,735	2,854	—
会員数(ID) (注)	158	1,367	1,209	865.2%

(注) 定額制の新社員研修サービス「サイバックスUniv.」または中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

◆教育関連事業は、売上高が増加したことや業務フローの共通化を進めた結果、前年同期に比べ改善したものの、固定費の回収までは至らずセグメント損失となる。

◆昨年9月設立の利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるポータル事業等の会員数は814会員と好調。

(単位 : ID)



サイバックスUniv.を利用できる会員は 553 ID
中国におけるグループウェアサービス等の会員数は 814 ID

	2010.06	2010.09	2010.12	2011.03	2011.06	2011.09	2011.12	2012.03	2012.06	2012.09	2012.12	2013.03	2013.06	2013.09
■ 与信管理サービス等	2,985	2,895	2,947	3,488	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770
■ ビジネスポータルサイト	4,118	4,057	3,993	3,955	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471
■ その他サービス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	272	563	1,081	1,367
会員数計	7,103	6,952	6,940	7,443	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608

(注) 上記は重複登録している会員が一部おります。

(単位：千円)

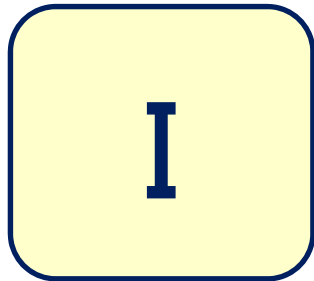
	2013年3月期	2014年3月期 第2四半期	増減額	前期比
流動資産	2,647,672	2,804,687	157,014	105.9%
固定資産	1,224,889	1,132,382	△92,507	92.5%
資産合計	3,872,562	3,937,069	64,507	101.7%
流動負債	320,562	339,887	19,325	106.0%
固定負債	58,659	45,617	△13,042	77.8%
負債合計	379,221	385,505	6,283	101.7%
純資産	3,493,340	3,551,564	58,223	101.7%
負債・純資産合計	3,872,562	3,937,069	64,507	101.7%
自己資本比率	89.1%	89.1%	—	—
1株当たり純資産	885.47円	886.73円	1.26円	100.1%

自己資本比率は89.1%と高水準を維持。

リスクモンスターグループ の評価 (東証JASDAQ:3768)

【RM財務格付】

2014年第2四半期



【RM財務格付定義】

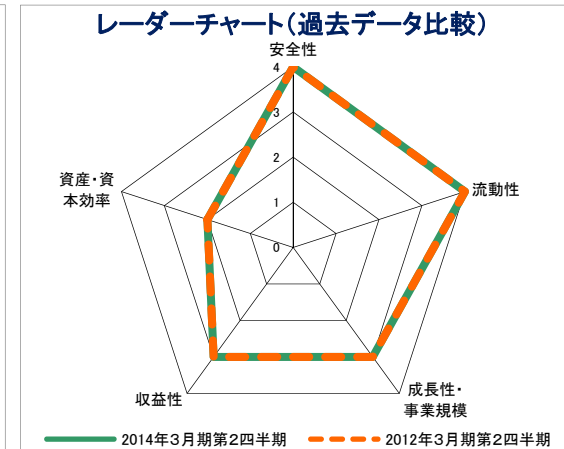
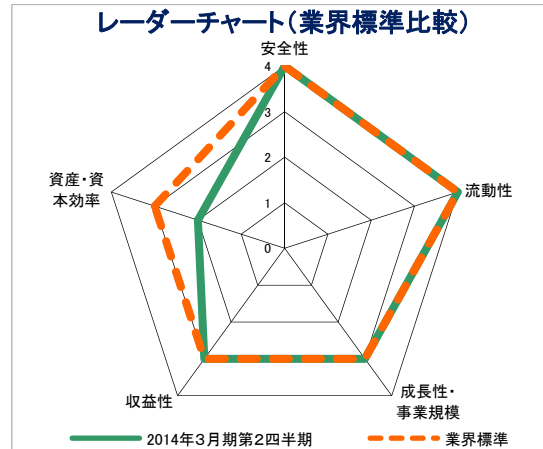
- I … 財務内容は良好です。
- II … 財務内容は概ね良好です。
- III … 財務内容にやや懸念があります。
- IV … 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】

- I … 0.1%
- II … 0.5%
- III … 1.0%
- IV … 3.0%

【RM財務格付履歴】

2014年3月期 第2四半期	2013年3月期	2012年3月期	2011年3月期
I	I	I	I
2010年3月期	2009年3月期	2008年3月期	2007年3月期
I	I	I	I
2006年3月期	2005年3月期	2004年3月期	—
I	I	I	—



安全性	2014年3月期 第2四半期	★ ★ ★ ★
	2013年3月期 第2四半期	★ ★ ★ ★
自己資本比率		★ ★ ★ ★
実質自己資本比率		★ ★ ★ ★
借入金利率		
借入返済年数		★ ★ ★ ★
収益性	2014年3月期 第2四半期	★ ★ ★
	2013年3月期 第2四半期	★ ★ ★
売上高経常利益率		★ ★ ★ ★
経常収支比率		★ ★ ★ ★
ROA(総資産利益率)		★ ★
資産・資本効率	2014年3月期 第2四半期	★ ★
	2013年3月期 第2四半期	★ ★
売掛債権回転期間		★ ★ ★
棚卸資産回転期間		★ ★ ★
総資産回転率		★

流動性	2014年3月期 第2四半期	★ ★ ★ ★
	2013年3月期 第2四半期	★ ★ ★ ★
流動比率		★ ★ ★ ★
当座比率		★ ★ ★ ★
現預金回転期間		★ ★ ★ ★
手形割引率		
成長性・事業規模	2014年3月期 第2四半期	★ ★ ★
	2013年3月期 第2四半期	★ ★ ★
売上高増減率		★ ★ ★
売上高規模		★ ★ ★
経常利益増減率		★ ★ ★

※ 実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※ ★★★★★(良い)～★(悪い)にて表示しています。★が表示されない項目は、評価対象外です。評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

※ ROAおよび総資産回転率は、それぞれ連結業績予想値で算出しています。

総合評価	財政状態は良好で、財務面においては高い信用力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本調達力は安定しており、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金調達力も見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、相応の収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	売上規模が十分ではなく、収益力も低下しているため、今後の収益動向に注意する必要があります。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2014年3月期第2四半期連結決算におけるRM財務格付は、I～IVの4段階中、最高位の「I」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、無借金状態にあり、自己資本比率89.1%と2013年3月期に引き続き、きわめて高い安全性水準となっている。

流動性に関しては、現預金残高2,295百万円を保有し、流動比率825.2%、当座比率806.8%と十分な資金繰り余力を有している。

総じて、十分な支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と思料される。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年同期比100.1%の増収推移となり、売上高四半期純利益率では、4.6%（前年同期）から6.2%（当期）へ1.6ポイント向上した。

これは、売上原価の低減により、売上総利益率が53.5%（前年同期）から55.5%（当期）へ2.0ポイント向上したことが要因といえる。同様に売上高営業利益率では9.4%から10.5%へ1.1ポイント向上、売上高経常利益率では9.7%から11.1%へ1.4ポイント向上と、それぞれの利益段階においても改善が見受けられ、事業全体としての収益力が高まっているといえる。

しかしながら、一方で、通期連結業績予想値を用いて算出した、資産効率と収益性を示すROAが3.4%と平均的な水準にとどまっている点については、ROAの構成要素である総資本回転率が0.66回と低水準にあることが原因であると考えられ、前期に引き続き課題として挙げられる。現預金等の当座資産が厚く、資金繰りに余力を有する反面、それらの資産が十分に運用されていないことが原因として推測されるため、今後はより高い資産効率が求められよう。

(単位 : 千円)

	2013年3月期 第2四半期	2014年3月期 第2四半期	増減額
営業活動	196,802	169,736	△27,065
投資活動	△201,873	△60,977	140,895
財務活動	△34,298	△307	33,990
現金に係る 換算差額	—	1,920	1,920
現金増減額	△39,369	110,370	149,740
現期首残金高	2,014,344	2,184,456	170,111
現期末残金高	1,974,974	2,294,827	319,852

◆ 営業活動

税金等調整前四半期純利益	143,155
減価償却費	126,541
法人税等の支払額	△70,392

◆ 投資活動

有形固定資産の取得による支出	△18,484
無形固定資産の取得による支出	△111,321
投資有価証券の売却による収入	65,253

◆ 財務活動

配当金の支払額	△30,797
株式の発行による収入	30,827

<p>規模・株式市場</p>	<p>既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大しながら、二部上場基準規模を目指す。</p>	
<p>財務 キャッシュ・フロー 方針</p>	<p>既存事業の安定成長基盤投資</p> <hr/> <p>事業ごとの配分</p> <hr/> <p>新規事業投資</p>	<p>➤ 営業キャッシュ・フロー内での運用。</p> <hr/> <p>➤ 経営・事業環境を勘案し柔軟に配分。</p> <hr/> <p>➤ 投資目標金額を設定し、積極的に投資する。</p>
<p>資本業務 提携方針</p>	<p>シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係を築くことを目的とする。また、将来、継続的な利益が出るもの、目標としている内部収益率(IRR)が見込めるものとする。</p>	
<p>配 当</p>	<p>配当性向20%以上を目安に安定的な配当を目指す。</p>	

	方針	狙い
与信管理 サービス事業	<p>BPO事業での業務請負運営ノウハウ及びASPシステムの管理運営ノウハウを総合</p> <p>収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮</p>	<p>会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)への足がかりとする</p> <p>限界利益率の向上を図る</p>
ビジネスポータル 事業	<p>事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化</p> <p>ポータル事業としての深化と強化を実現</p>	<p>安定成長を目指す</p> <p>サービスの浸透度を深める</p>
BPO事業	<p>業務請負サービスでのシナジーの追求</p> <p>国内外センターのそれぞれの役割を明確にし、グループ連携と採算管理を徹底</p>	<p>グループのシナジー効果</p> <p>グループ全体のコスト削減に貢献</p>
その他 サービス事業	<p>教育関連事業では、教育事業部を新設することにより、資格事業、研修事業及びeラーニング事業を集約</p> <p>新規開発投資の再開及び事業の挺入れ</p>	<p>戦略的取り組みとして実施</p> <p>継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力</p>

(単位 : 百万円)

	2014年3月期 第2四半期実績	2014年3月期 予想	差額	進捗率
売上高	1,236	2,600	1,363	47.6%
営業利益	130	250	119	52.1%
経常利益	137	255	117	53.8%
当期(四半期)純利益	76	132	55	58.0%
1株当たり当期(四半期)純利益	19.44円	33.37円	13.93円	58.3%

①営業基盤の強化

(九州営業所開設による関西・九州地域のテコ入れ、新代理店制度の導入、スモールビジネス向け)

②9,608の会員企業様に最適のサービス・コンテンツを提供できる体制の構築

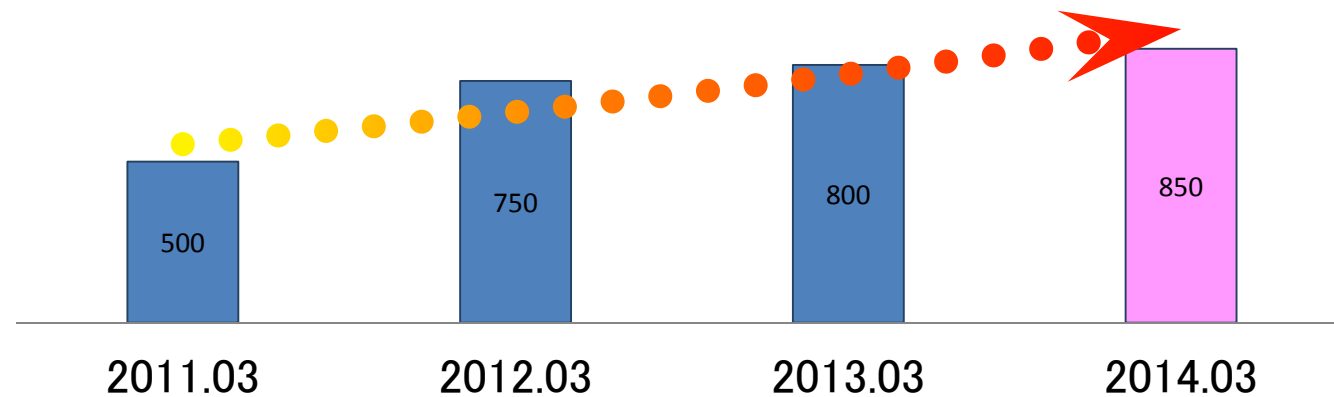
③さらにわかりやすく使いやすいサービスを突き詰め、ユーザビリティと顧客満足度を向上させることで顧客単価を高め、低い退会率維持を目指す

④積極的なアライアンスなどによる海外事業やネットワークの強化など新たな取り組みにチャレンジ



3ヶ年計画『第3次中期経営計画(2011～2013年度)』の目標達成へ！

- 当連結会計年度は、当初の予定どおり1単元当たり800円(1株当たり8円)の配当を実施する予定。
- 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指す。
- 中長期的には配当性向20%以上を目標とする。



1単元当たり配当金	500円	750円	800円	850円
配当性向	15.7%	24.9%	23.7%	25.1%

(注) 1単元 = 100株

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、利益還元をするための施策として、株主優待制度を導入しております。

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、
6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象にお好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待を実施いたします。

保有期間 所有单元数	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
300株	当社指定商品	1,500円 相当	2,000円 相当
500株		2,000円 相当	3,000円 相当
1,000株		3,000円 相当	4,000円 相当



株主優待の
ご案内





20.企業概要



(2013年9月末時点)

商号	リスクモンスター株式会社	主 事 業 内 容	与信管理サービス等 ビジネスポータルサイト BPOサービス その他サービス(教育関連事業等)
設立	2000年9月		
代表者	代表取締役会長 菅野 健一 代表取締役社長 藤本 太一	所 在 地	(本社) 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル1F (大阪支社) 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋8F (名古屋営業所) 名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル12F (九州営業所) 福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル4F
資本金	1,123,559千円		
従業員数	93名(連結) 64名(単体)		
株 主	株式会社東京商工リサーチ 株式会社日本M&Aセンター 株式会社エヌアイデイ 株式会社オービックビジネスコンサルタント 藤本 太一 テクマトリックス株式会社 ほか	連 結 子 会 社	リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 リスモン・マッスル・データ株式会社 日本アウトソース株式会社 サイバックス株式会社 利墨(上海)商務信息咨询 有限公司
		株 式 市 場	東京証券取引所 JASDAQスタンダード 証券コード 3768



<http://www.riskmonster.co.jp>

【IRに関するお問い合わせ】

TEL : 03-6214-0352 (IR専用ダイヤル)
FAX : 03-6214-0366
Mail : ir@riskmonster.co.jp

【グループ会社ホームページ】



- ・ リスモン・ビジネス・ポータル株式会社
<http://www.j-motto.co.jp>
- ・ リスモン・マッスル・データ株式会社
<http://www.rismon-md.co.jp>
- ・ 日本アウトソース株式会社
<http://www.outsource.co.jp>
- ・ サイバックス株式会社
<http://www.cybax.co.jp>